

# Osaka Metro まちさんぽ

## 四つ橋線 四ツ橋駅

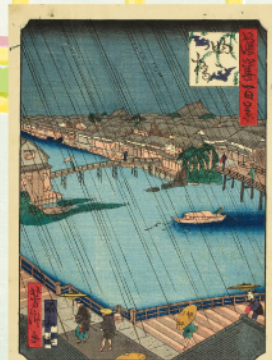
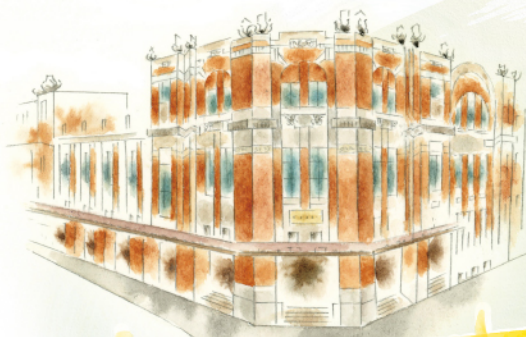
### 新町・四ツ橋

四ツ橋駅

40分  
コース

#### か が い 天下一の花街・新町を歩く

新町遊郭は徳川幕府が設置した天下公認の遊郭で、明治初頭まで250年にわたって日本一の花街として名を馳せました。いま、その面影は残っていませんが、どこかしなやかな風情が感じられるのは、まちの記憶のせいでしょうか。



中井芳滝  
四ツ橋(浪花百景)  
大阪市立図書館所蔵

スタート駅	約 40 分	ゴール駅
四ツ橋駅 四つ橋線 1-A号出口	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 旧名所四ツ橋跡碑</li> <li>2 新町橋の碑 西横堀川・新町</li> <li>3 瓢箪町・扇屋 夕霧太夫</li> <li>4 千代女の句碑(新町北公園) 新町九軒桜堤の跡碑</li> <li>5 生誕の地碑 初世中村鷹治郎</li> <li>6 石畳の路地</li> <li>7 創始の地碑(新町南公園) 角藤定憲改良演劇</li> <li>8 砂場跡の碑(新町南公園)</li> <li>9 富田屋橋跡の碑 間長涯天文観測の地</li> </ol>	西大橋駅 長堀鶴見緑地線

かつて西横堀川と長堀川が直角に交差したところに、江戸時代初期に4本の橋が口の字型に架かり、総称して四ツ橋と呼ばれていました。大坂名物として錦絵にも描かれていましたが、戦後の交通量の増加に伴う道路建設で、両堀川が埋め立てられて四ツ橋も消えました。



四ツ橋駅  
40分  
コース

# Osaka Metro まちさんぽ

四ツ橋線 四ツ橋駅

新町・四ツ橋

## か が い 天下一の花街・新町を歩く

新町遊郭は徳川幕府が設置した天下公認の遊郭で、明治初頭まで250年にわたって日本一の花街として名を馳せました。いま、その面影は残っていませんが、どこかしなやかな風情が感じられるのは、まちの記憶のせいでしょうか。

スタート駅

約 40 分

ゴール駅

四つ橋線四ツ橋駅(1-A)号出口

長堀鶴見緑地線西大橋駅

### 1 旧名所四ツ橋跡碑

西横堀川に架かっていた上繫橋、下繫橋、長堀川に架かっていた炭屋橋、吉野屋橋の四ツ橋がモニュメントとして設置され、小西来山の「涼しさに四ツ橋を四つ渡りけり」などの句碑が並んでいます。



### 2 西横堀川・新町・新町橋の碑

大坂の陣後、大坂城主の松平 忠明 は市中に散在していた色町を1か所に集めて幕府公認の遊郭としました。これが新町遊郭のはじまりで、遊郭番付では東の大関に位する最高位の花街とされました。元禄の頃には2000人近くの遊女を抱え、西鶴の浮世草子、近松の浄瑠璃にも描かれています。旧西横堀川に架かる橋が新町橋で、船場から新町遊郭へ通じる通路でした。明治期の鉄橋新町橋が碑に描かれています。新町遊郭は明治の芸娼妓解放令や相次ぐ火災、戦争の空襲で姿を変え、戦後は茶屋街として親しまれてきました。現在はおしゃれなブティックやレストラン街に生まれ変わっています。



### 3 瓢箪町・扇屋・夕霧太夫

大門を入ると瓢箪町(新町通)で、ここに扇屋があり、夕霧は扇屋の太夫(最高位の遊女)として名を馳せました。20歳のときに京・島原から新町に移り、西鶴は『好色一代男』で「神代このかた、また類なき御傾城(遊女)の鏡」「しとやかで色白く、声よく琴三味に通じ、長文を書き、物ねだりせず……」と褒め上げています。夕霧は吉原の高尾、島原の吉野と並んで三大名妓といわれました。しかし新町でわずか6年、病に倒れて27歳で亡くなり、大坂中が悲嘆にくれたといわれています。下寺町の浄国寺の墓に「この塚は柳なくともあわれなり」と鬼貫は句に詠み、坂田藤十郎が『夕霧名残の正月』を歌舞伎舞台にかけ、近松門左衛門が33回忌に『夕霧阿波鳴渡』を浄瑠璃に著しています。



### 4 新町九軒桜堤の跡碑・千代女の句碑(新町北公園)

新町遊郭は出入り自由で、桜の季節には町人が太夫行列と花吹雪の見物に集まりました。新町北公園には桜が植樹されていまでも新町の風情を伝えています。公園の北西隅は九軒町と呼ばれた堤で桜の名所でした。「(だま)されて来て(誠)なりはつ桜」という加賀の千代女の句碑が立っています。近松の『夕霧阿波鳴渡』の舞台・吉田屋はなにわ筋の向かい側です。



### 5 初世中村鷹治郎生誕の地碑

幕末の頃、扇屋の一人娘・妙と店に入りしていた歌舞伎役者・三代目中村 翫雀の子が、のちに日本の歌舞伎界を背負う初代中村鷹治郎です。近松の『心中天の網島』の治兵衛を演じて、岸本水府が「頬かむりのなかに日本一の顔」と川柳に詠みました。生誕の地碑は公園の南西角にあります。



### 6 石畳の路地

新町通の一面に石畳の路地が残っています。すっかり変貌した新町で、かつての新町遊郭の名残はこの路地のみだされています。



### 7 角藤定憲改良演劇創始の地碑(新町南公園)

公園の北側には戦前に芸妓たちが踊りを披露した新町演舞場がありました。ここでの春の浪花踊と京都の都をどりや春を告げる行事とされました。角藤定憲が板垣退助の後援を得て明治21年(1888)に「日本改良演劇」をこの演舞場(当時は新町座)で上演したのが日本の新演劇のはじまりです。川上音二郎の旗揚げよりも3年早く、以来、新派と呼ばれる新演劇が日本の新しい潮流となりました。碑の裏側には日本演劇史に残る人々の名前が連なっています。



### 8 砂場跡の碑(新町南公園)

秀吉が大坂城を築城したときに、大坂各地に資材置き場が設けられましたが、新町には海から運ぶ砂類の蓄積場が置かれました。そこに工事業者が集まり、人々に麺類を提供する「いづみや」「津の国屋」などが開店しました。「砂場そば」という呼称もここから生まれました。本邦麺類店発祥の地であるという石碑が新町南公園にあります。



### 9 間長涯天文観測の地・富田屋橋跡の碑

間長涯は江戸中期の暦学者・天文学者。名は重富、雅号が長涯で、長堀富田屋町(現・新町2丁目)の質屋に生まれました。麻田剛立に師事して天文学を学び、幕府に招かれて江戸に出て寛政暦を完成させました。その功績で間姓が許され、帰坂後は富田屋橋で天体観測に従事し、貴重な観測記録を残しました。測量技術は弟子の伊能忠敬に受け継がれ、日本地図が作成されました。



文中の「おおさか」表記には、一般呼称や明治以降については「大阪」、江戸時代以前については「大坂」を使っています。なお、掲載している情報は2024年8月時点のものです。内容は変更されている場合があります。

発行：Osaka Metro

協力：一般社団法人大阪あそ歩委員会 (お問い合わせ先)大阪あそ歩 info@osaka-asobo.jp

後援：歴史街道推進協議会

このコースや他のコースの(ガイド付きまち歩き)については、下記の「大阪あそ歩」のホームページをご覧ください。

<https://www.osaka-asobo.jp> または  で検索

#### ご注意

※まち歩きには歩きやすい服装で、足下や車などの往来に十分注意し、事故のないように各自で責任をもって行動してください。

※プライバシーにかかわる場所での写真撮影や大声での談笑はご遠慮ください。住宅敷地内での写真撮影は厳禁です。

#### ご案内

※駅スタンプは駅長室付近に設置しています。参加記念にぜひ押印してください。

#### 駅スタンプ押印欄



毎月第1金曜日発行